

ならちゅうしん経営研究会 例会報告

第 383 回 研究会

日時 令和 7 年 2 月 19 日(水) 午後 4 時 ~ 午後 5 時 30 分
場所 奈良中央信用金庫 3 階 ホール
講師 ReGACY Innovation Group 株式会社
取締役兼執行役員 桶谷 建央 氏
テーマ 「中小企業におけるオープンイノベーション」

今回は、ReGACY Innovation Group 株式会社 (ReGACY 社) より取締役兼執行役員の桶谷建央様を講師にお招きして、「中小企業におけるオープンイノベーション」をテーマにご講演を頂きました。冒頭に芳仲会長より”スポーツの世界では若い人が世界を舞台に大活躍しているが、我々経営の世界では若い人の活躍が限られている。今日は新規事業創出について、しっかり勉強していきたい”と開会のご挨拶を頂きました。

プライベートエクイティ及びコンサルティング事業を運営する ReGACY 社は昨年 12 月に田原本町の“新産業共創事業検討パートナー”に選定され、革新的な技術やアイデアを持つ有カスタートアップ企業を誘致し、既存産業との掛け算による価値共創や地域内起業の促進、雇用の創出に取り組んでいきます。そして今年 1 月に田原本町と田原本町商工会、ReGACY 社、奈良中央信用金庫で新産業創出、スタートアップ誘致に関する連携協定を締結しました。本事業ではちゅうしんの魚町旧本店をスタートアップ誘致の拠点として活用する計画で、同時に 2 億円規模のベンチャーキャピタルファンドを立ち上げます。

最初にオープンイノベーションについて説明を頂きました。世の中が劇的に変化する環境下でこれまでと同じ戦い方では生き残りが難しいことは必定、新規事業を創出して行く必要があります。オープンイノベーションとは組織内部のイノベーションを促進するために、意図的かつ積極的に内部と外部の技術やアイデアなどの資源の流出入を活用し、その結果組織内で創出したイノベーションを組織外に展開する市場機会を増やすことと定義されます。中小企業こそオープンイノベーションに取り組むべきであるとのこと。その理由はトップのコミットにより迅速で深い意思決定が可能であることと中小企業で不足しがちな人員・設備等といったリソースを外部活用できるからです。結果としてオープンイノベーションに取り組んだ中小企業は取組んでいない企業に比べて労働生産性の伸びが高くなっています。また成果として「知識・ノウハウの蓄積」「人材育成」「新製品・サービスの開発」を上げています。後半は ReGACY 社がサポートしたオープンイノベーションの事例の紹介、そして 4 月より田原本町で展開するスタートアップ誘致事業について説明を頂き、地元企業に対してオープンイノベーションの機会を提供していくと発表されました。

新規事業創出は会員の皆様の会社にとっても大変、関心の高いテーマですので講義が終ってから多くの質問が寄せられました。桶谷様、貴重なご講義をありがとうございました。

以 上



芳仲会長 ご挨拶



講師 ReGACY Innovation Group 株式会社
取締役兼執行役員 桶谷 建央 氏